

## 科学研究費助成事業 研究成果報告書

令和 6 年 6 月 18 日現在

機関番号：17201

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2020～2023

課題番号：20K03391

研究課題名(和文) 発達障害学生向け学内アルバイトプログラムパッケージの開発

研究課題名(英文) Development of an on-campus part-time job program package for students with developmental disabilities

研究代表者

中島 俊思(Nakajima, Syunji)

佐賀大学・学校教育学研究科・准教授

研究者番号：90568495

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,100,000円

研究成果の概要(和文)：発達障害大学生のアセスメントに活用できるアルバイトスキル尺度を開発した。「コミュニケーション領域」で30項目、「作業領域」で39項目、「環境領域」で35項目、「準備・管理領域」で9項目、「知識領域」で14項目をそれぞれ作成した。また、「準備・管理領域」と「知識領域」は、男子学生252名、女子学生349名、計601名の一般学生の基礎データを収集し、発達障害学生群30名との比較検討を行った。「コミュニケーション領域」「作業領域」「環境領域」は、220名の大学生学生を対象に調査を行い、アルバイトの職種ごとにもとめられる各スキルを整理した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

大学生がアルバイトをする上で、「コミュニケーション領域」「作業領域」「環境領域」などの視点から、必要なスキルの定義を行い尺度化した研究は初めての試みである。さらにアルバイトの実態との整合性を大学生に調査を行い、100の職種ごとにスキルをリスト化した報告はまだなく、貴重な基礎データとなる。また「準備・マネジメント領域」「知識領域」男子学生252名、女子学生349名、計601名の一般学生の基礎データを収集し、発達障害学生群30名との比較検討を行い、発達障害学生の特徴を明らかにしたことは意義深い。

研究成果の概要(英文)：A part-time job skill scale was developed that can be used to assess university students with developmental disabilities. 30 items were created in the "communication" area, 39 items in the "work" area, 35 items in the "environment" area, 9 items in the "preparation/management" area, and 14 items in the "knowledge" area. In addition, basic data was collected from 601 general students, 252 male students and 349 female students, for the "preparation/management" and "knowledge" areas, and a comparison was made with a group of 30 students with developmental disabilities. A survey was conducted on 220 university students in the "communication", "work" and "environment" areas, and the skills required for each type of part-time job were classified.

研究分野：臨床心理学

キーワード：発達障害 アルバイト スキル 大学生

### 1. 研究開始当初の背景

2016年の障害者差別解消法の施行・発達障害者支援法の改正により、入学時の適応から就職活動まで、全国の大学で発達障害の学生には包括的で継ぎ目のない支援が求められている。2024年には改正障害者差別解消法も試行され、私立大学でも障害学生への合理的配慮の提供が義務化されている。学修面の支援に関しては障害学生として合理的配慮の提供などにより進展しつつある一方で、就労への移行支援という点で大学は大幅に遅れている。発達障害学生はその特性上、就学と学外活動を同時に進めることが困難であることから、一般学生が経験しているような在学中の大学外でのアルバイトやインターンシップといった就業経験を、他の学生のように自主的に得ることが難しい(桶谷 2015)。もともとセルフモニタリングや未知の社会的枠組みをイメージすることが苦手な発達障害学生にとって、実際に賃金が支払われる状況で、労働を失敗も含めて現実世界で経験してみることは、社会的学びとして絶対に欠くことのできないステップとなる。インターンとアルバイトの違いは、労働と報酬の受取が対価になっているという社会のルールの、体験的学びがあるかどうかである。発達障害の学生が、アルバイト体験を通して他者とのつながりを広げ、成功体験を積み重ねていくことが、結果として自己の進路選択につながったという報告が数多く見られる(春日 2008, 松瀬 2017)。では実際に、発達障害学生がアルバイトスキルはどのようなものか、アルバイトをするためのスキルとして、履歴書の書き方・応募の仕方などの準備スキル、アルバイト就労の条件や税制に関する基礎知識、ハウレンソウなどの雇用先でのコミュニケーションスキル、現場で労働をこなす作業スキルなどがある。また、実際に雇用先で継続就労を左右する要因としては、アルバイト先の環境、もあげられる。発達障害学生に関しては、問題行動や逸脱行動など、平均からの乖離という視点から明らかにされてきた。就労移行を念頭にいた場合、実際に何ができるかという適応行動の詳細な把握が不可欠である。今まで未整理だった一般学生のアルバイトスキルを標準データとして収集することで、発達障害大学生の就労に関するスキルの傾向や特徴が、客観的・数量的に比較可能な実証データとして明らかになる

### 研究1「一般大学生向けアルバイトスキル・知識尺度の開発」

#### 2. 研究の目的

発達障害の就労に関しては、ベッカー職場適応プロフィール改訂版 [ BWAP 2 ] (梅永 2021, Becker 2005) といったアセスメントツールがあり、障害者の就労移行の場で活用されてきた。一方でこれまで、一般や大学生が、年齢時点でどの程度のアルバイトスキルを持っているかという基礎データがなく、発達障害学生のアルバイトスキルを適切に評価するツールは存在しなかった。本研究では、大学生のアルバイトのスキルに関して、「基礎知識」「準備スキル」「コミュニケーションスキル」「作業スキル」「職場環境」の5つのカテゴリーから尺度開発を行った。

#### 3. 研究の方法

2022年4月～12月にかけて、大学の障害学生支援や、発達障害者の就労支援に関わる専門家で、今回取り上げるアルバイトの職種が枠組みの整理、「基礎知識」「準備スキル」「コミュニケーションスキル」「作業スキル」「職場環境」に関する概念整理、各カテゴリーのスキルのリストアップと分類作業、表現の整理などブラッシュアップを行った。佐賀発達障害者就労支援センターSKY 職員2名、国立大学障害学生支援担当教員3名がかかわった。

表1 アルバイトスキル尺度の定義と項目例

領域	定義	項目数	項目例
コミュニケーション領域	職場での他の同僚・社員との間で、関係を維持していくために必要なコミュニケーション。サービス利用者との間で必要なコミュニケーション。言語コミュニケーションに加え、表情や愛想など非言語コミュニケーションを含む。	30	「他の人から仕事を頼まれたら快く引き受けることができる。」 「お客様や職場の人などから言われたことを、正確に他の人に伝えることができる」
作業領域	職場でする手や体・頭を使ってする作業内容	39	「電話で聞いた内容をメモに書き写し、正確に記録する」 「作業の優先順位を自分で考える、または人に聞くなどして作業の順番を決めることができる」
環境領域	実際に働く場所で想定される環境(聴覚・触覚・嗅覚・明暗・客層など)	35	「休憩時間中に、部屋の中の自分のまわりに常に複数の人がいて、一人きりになりづらいところ」 「揚げ物・煮物・肉・魚・酒類など、食べ物の匂いがするところ」
準備・管理領域	アルバイトに申し込んだり、年間通して継続していくために必要なスキル。	9	「電話で”はじめまして、〇〇と申します。アルバイトの件でお電話したのですけれども”と話すことができる。」 「アルバイト専用の紹介WEBサイト・大学掲示板・町中の募集チラシなど、どこでアルバイト情報を集めればいいのかわかる」
知識領域	雇用契約、アルバイトに関わる税制や控除の仕組み、安全管理に関する知識	14	「年間のアルバイト収入が103万を超えると、親の税金が上がることを知っている」 「発熱など感染症が疑われるような体調不良の場合は、無理して出勤するのではなく、アルバイト先に連絡し休みを取る必要があることを知っている」

#### 4. 研究成果

アルバイトスキル尺度作成にあたり、定義の確認等を行った。特に発達障害学生のアセスメントを前提としたスキル尺度であることから、以下を定義づけた。実際の勤務が継続できない基礎スキルのみとし、現場で働き始めてから職場で教えられるような専門的スキルは除外した(例スーパーのレジバイトで、レジの機械は最初から使えなくていい専門的スキル、愛想よく接客することお客さんに決まったセリフをいうことや、立ち続けることは基礎スキルに該当する)。職場の空気読むや、気遣うなど明文化できないスキルは含まなかった、作業を覚えるのに時間がかかる・プロセス等は含まないこととした。自分の代替要員を探すなど契約内容に含まれないものや法律的に曖昧なものは除外した。準備・管理領域、知識領域以外のスキルは、アルバイト職種によっても異なることを前提とした。結果的に、「コミュニケーション領域」で30項目、「作業領域」で39項目、「環境領域」で35項目、「準備・管理領域」で9項目、「知識領域」で14項目をそれぞれ作成した。

### 研究2「アルバイトスキル・知識尺度の開発の一般大学生の基礎データと発達障害学生群との比較」

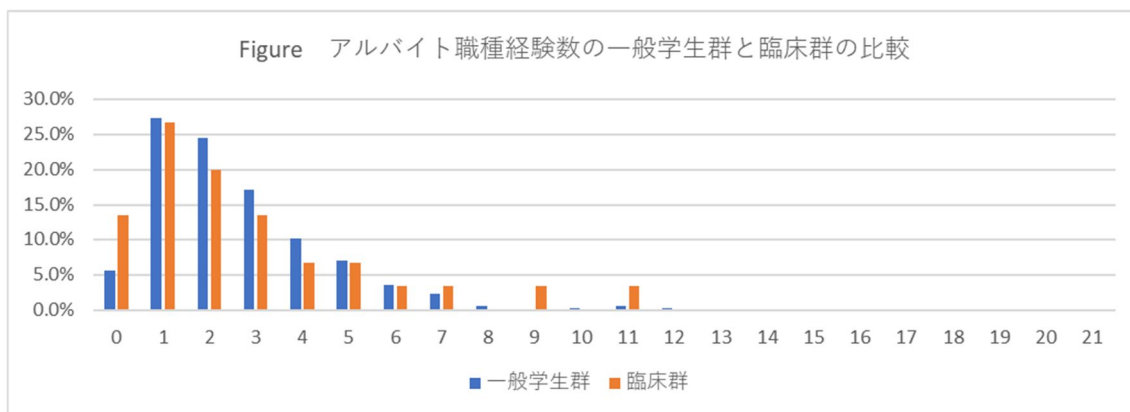
#### 2. 研究の目的

【研究】では、全国の現役大学生が体験したアルバイトに関する職種や数の情報を整理し、「準備・管理領域」と「知識領域」の大学生標準データセットを作成する。また発達障害の診断を受けた現役大学生に調査を行い、現役標準データと比較し、アルバイト経験と知識・準備スキルとの関連を検証する。

#### 3. 研究の方法

2023年10月～12月にかけて、佐賀・岡山・京都・大阪・福井の5か所、7大学(国立大学4校、私立大学3校)で紙面によるアンケート調査を実施した。アンケート協力者には300年円分のQUOカードを渡した。データ欠損のある回答を除外し、男子学生252名、女子学生349名、計601名を基礎データの対象とした。発達障害学生群は3大学(国立大学)の男子学生21名、女子学生9名を対象とした。「準備・管理領域」は、評定1「できそうにない」、評定2「自信はないけれどサポートがあればできそう」、評定3「必要になればできる」、評定4「過去に経験があり、出来る」の4段階評定とした。「知識領域」は、評定1「全く知らなかった」、評定2「なんとなく聞いたことはあるが詳しくは知らない」、評定3「知っている」の3段階評定とした。

#### 4. 研究成果



一般学生と障害学生の大学在籍時に経験したバイト職種の数ごとのわりあいを Figure1 に示す。一般学生群では、多くの者が1から3種類であり、8種類までが正規分布に近い値を示していた。しかし、20及び21と極端に多い職種数を回答する者が2名みられた。臨床群においては、アルバイト経験なしの者が1割以上おり、相対的に高い割合を示していた。

知識項目について、アルバイト経験の有無による比較をおこなった(Table2)。アルバイト経験がある学生の場合、有意に知識が高かったのが、知識1、知識2、知識6、知識7、知識8、知識10、知識11、知識12、知識13、知識14であった。雇用契約に関することやアルバイト収入に関わる税制、居住地の最低時給などの知識であった。

知識項目について、一般学生と臨床群との比較を行った。発達障害学生が有意に低かったのは、知識2、知識3、知識6、知識7、知識8、知識9、知識10、知識11、であった。知識3の怪我をおったときの労働災害保険で対応してもらえることや、知識9の年収20万以上で確定申告が必要なことは、発達障害学生のみが知識が低い項目であった。

Table2 アルバイトに関する知識項目のアルバイト経験による比較

		アルバイト経験あり			アルバイト経験なし			p	Effect size (r)
		N	Median	Mean rank	N	Median	Mean rank		
知識1	アルバイトを始める前に、雇用契約書・業務委託契約書があること	588	2	321.55	38	1	188.96	***	-.22
知識2	年収が103万以下で確定申告をすれば、余分に収めた税金が還ってくる	589	2	323.31	38	0	169.72	***	-.22
知識3	アルバイト中におった怪我などは、労働災害保険で対応してもらえる	590	2	316.25	38	2	287.33		-.05
知識4	アルバイト先の物品を意図的に壊したり、その様子をSNSなどに投稿した場合、法的な賠償請求の訴訟を受ける可能性がある	590	2	315.96	38	2	291.86		-.06
知識5	繁忙時期など、通常より業務が多いときは、業務時間が延長や、開始時間が変更を求められることもある	590	2	316.71	38	2	280.21		-.08
知識6	今住んでいる都道府県の最低時給	591	2	322.49	38	1	198.54	***	-.18
知識7	発熱など感染症が疑われるような体調不良の場合は、無理して出勤するのではなく、アルバイト先に連絡し休みを取る必要がある	591	2	319.28	38	2	248.49	***	-.20
知識8	年間のアルバイト収入が130万を超えると、家族の扶養(社会保険の枠)から外れ、別に国民健康保険や国民年金などの保険代を払わなければならない	591	2	321.68	38	1	211.07	***	-.20
知識9	年間(1~12月)でアルバイト収入が20万を超える場合、確定申告が必要な	591	1	317.81	38	0	271.32		-.07
知識10	アルバイトで身の危険を感じたり不利だと感じたときに、いつでもやめることができる	590	2	317.52	38	2	267.58	*	-.09
知識11	複数のアルバイトを掛け持ちしている場合は、全ての源泉徴収票を集めて申請することを確定申告ということ	591	1	322.94	38	0	191.47	***	-.19
知識12	年間のアルバイト収入が103万を超えると、親の税金が上がる	591	2	323.01	38	0	190.5	***	-.20
知識13	月収が8万8千以上の場合、源泉徴収といって働いた賃金から自動的に税金がひかれる	590	1	319.17	38	0	241.97	**	-.11
知識14	業務で知り得たアルバイト先の情報について、許可なく第三者に公開してはいけない	591	2	317.77	38	2	271.91	*	-.09

\*\*\* p &lt; .001, \*\* p &lt; .01, \* p &lt; .05, Mann-Whitney's U

Table3 アルバイトに関する知識項目の回答結果のグループ間比較

		一般群			臨床群			p	Effect
		N	Median	Mean rank	N	Median	Mean rank		
知識1	アルバイトを始める前に、雇用契約書・業務委託契約書があること	596	2	315.71	30	2	269.63		-.07
知識2	年収が103万以下で確定申告をすれば、余分に収めた税金が還ってくる	597	2	318.68	30	1	220.83	**	-.13
知識3	アルバイト中におった怪我などは、労働災害保険で対応してもらえる	598	2	317.74	30	1.5	249.92	*	-.10
知識4	アルバイト先の物品を意図的に壊したり、その様子をSNSなどに投稿した場合、法的な賠償請求の訴訟を受ける可能性がある	598	2	315.37	30	2	297.25		-.04
知識5	繁忙時期など、通常より業務が多いときは、業務時間が延長や、開始時間が変更を求められることもある	598	2	314.58	30	2	312.98		.00
知識6	今住んでいる都道府県の最低時給	599	2	318.62	30	1	242.63	*	-.10
知識7	発熱など感染症が疑われるような体調不良の場合は、無理して出勤するのではなく、アルバイト先に連絡し休みを取る必要がある	599	2	317.98	30	2	255.4	***	-.16
知識8	年間のアルバイト収入が130万を超えると、家族の扶養(社会保険の枠)から外れ、別に国民健康保険や国民年金などの保険代を払わなければならない	599	2	319.75	30	1	220.17	***	-.16
知識9	年間(1~12月)でアルバイト収入が20万を超える場合、確定申告が必要な	599	1	319.16	30	1	232	**	-.11
知識10	アルバイトで身の危険を感じたり不利だと感じたときに、いつでもやめることができる	598	2	317.47	30	2	255.2	**	-.10
知識11	複数のアルバイトを掛け持ちしている場合は、全ての源泉徴収票を集めて申請することを確定申告ということ	599	1	319.96	30	1	215.97	**	-.13
知識12	年間のアルバイト収入が103万を超えると、親の税金が上がる	599	2	317.98	30	1	255.47	*	-.09
知識13	月収が8万8千以上の場合、源泉徴収といって働いた賃金から自動的に税金がひかれる	598	1	316.4	30	1	276.6		-.05
知識14	業務で知り得たアルバイト先の情報について、許可なく第三者に公開してはいけない	599	2	316.43	30	2	286.35		-.05

\*\*\* p &lt; .001, \*\* p &lt; .01, \* p &lt; .05, Mann-Whitney's U

Table4 準備マネジメントスキル尺度項目の回答結果のグループ間比較

		一般群			臨床群			p	Effect size (r)
		N	Median	Mean Rank	N	Median	Mean Rank		
準備1	志望動機や自己アピールを、職種に応じてふさわしい内容である程度埋めることができる	561	3	296.61	26	2	237.58		-0.08
準備2	学校の試験や課題と自分の体力などのバランスを考えて適切な日数や時間のシフト希望を伝えることができる	565	3	301.7	26	2	172.08	***	-0.21
準備3	電話で「はじめまして、〇〇と申します。アルバイトの件でお電話したのですけれども」と話すことができる	565	3	298.51	26	3	241.37	*	-0.09
準備4	アルバイト専用の紹介WEBサイト・大学掲示板・町中の募集チラシなど、どこでアルバイト情報を集めればいいのかわかる	565	3	297.94	26	3	253.77		-0.07
準備5	アルバイトのメンバー数が通常のシフトより少ない場合は、担当ではない業務もすすんで行うことができる	565	3	300.59	26	2	196.19	**	-0.14
準備6	インターネットやアプリなどで、必要事項の書き込みをして、アルバイト先に面談を申し込むことができる	565	3	297.11	26	3	271.81		-0.04
準備7	履歴書を手に入れたり、写真や経歴を書くことができる	565	3	297.47	26	3	264		-0.06
準備8	自分が実際に働いた時間と、それに見合ったその月の賃金・収入がどれくらいか、およそ把握している	564	3	299.38	26	2.5	211.42	**	-0.14
準備9	決められた勤務日、業務開始時間の5分前など少し早めに職場に出勤し、準備ができる	565	3	298.83	26	3	234.56	**	-0.12

\*\*\*  $p < .001$ . \*\*  $p < .01$ . \*  $p < .05$ . Mann-Whitney's U

準備・マネジメントスキルに関しては、アルバイト経験がある学生を限定し、一般群と臨床群で比較した。準備2、準備3、5、準備8、準備9、準備10で発達障害学生が出来ないと回答する割合が多かった。学業や疲労を考慮したシフト調整、繁忙期の職場の調整、労働時間と賃金の管理、早めの職場出勤、などで出来ている回答する割合が低かった。発達障害学生のアルバイトスキルの傾向が明らかになった。

#### (引用文献)

- 桶谷友哲 (2015) 大学から社会へ - 発達障害のある大学生への社会参入支援. 梅永雄二 (編著), 発達障害のある人の就労支援, (pp43-51), 金子書房.
- 春日 彰, 加藤 弘美, 乾 仁美 (2008), 発達障害のある高校生に対する教育相談の実践(4) : 進路支援の実践 日本教育心理学会総会発表論文集 50 (0), 435
- 松瀬留美子(2017)コミュニケーション上の苦手意識が顕在化しない ASD 学生への心理臨床的アプローチと臨床イメージ, 自閉症スペクトラム研究 14 (2), 5-13
- Becker, R.I (2021) 発達障害のある人の就労アセスメントツール BWAP2 日本語版マニュアル&質問用紙 梅永雄二監修, 合同出版

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計4件（うち査読付論文 0件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 0件）

1. 著者名 中島 俊思、林 陽子、永尾 悠生、木道 圭子	4. 巻 7
2. 論文標題 コロナ禍における大学新生のメンタルヘルスと予防活動の効果	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 佐賀大学大学院学校教育学研究科紀要	6. 最初と最後の頁 2~12
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.34551/00023454	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 井邑 智哉、下田 芳幸、中島 俊思、小松原 修、木田 啓二	4. 巻 7
2. 論文標題 【佐賀大学大学院学校教育学研究科効果検証プロジェクト】子ども支援探究コース修了までのロードマップ	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 佐賀大学大学院学校教育学研究科紀要	6. 最初と最後の頁 902~938
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.34551/00023525	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 澤井 世津子、永尾 悠生、井上 加奈子、林 陽子、大西 将史、中島 俊思	4. 巻 8
2. 論文標題 学生支援室を利用する学生のWAIS- と大学生生活適応の関連に関する探索的検討	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 佐賀大学大学院学校教育学研究科紀要	6. 最初と最後の頁 255~268
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.34551/0002000573	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 井邑 智哉、小松原 修、中島 俊思、木田 啓二、江口 若香子、下田 芳幸、後藤 大二郎、平田 淳、松尾 敏実、米田 重和、堤 公一、野田 英樹、江川 美津矢	4. 巻 8
2. 論文標題 佐賀大学大学院学校教育学研究科（教職大学院） 第5期修了生追跡調査結果の概要	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 佐賀大学大学院学校教育学研究科紀要	6. 最初と最後の頁 864~905
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.34551/0002000556	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計1件（うち招待講演 0件 / うち国際学会 0件）

1. 発表者名 中島俊思、永尾悠生、井上加奈子、澤井世津子、荒木薫、木道圭子
2. 発表標題 人材登録型の障害学生支援ボランティア、キャンパスライフサポーター制度の紹介
3. 学会等名 令和5年度九州地区大学保健管理研究協議会
4. 発表年 2023年

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究 分担者	望月 直人  (Mochizuki Naoto)  (20572283)	大阪大学・キャンパスライフ健康支援・相談センター・准教授   (14401)	
研究 分担者	原田 新  (Harada Shin)  (70721132)	岡山大学・全学教育・学生支援機構・准教授   (15301)	

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究 協力者	大西 将史  (Ohnishi Masahumi)  (20568498)	福井大学・学術研究院教育・人文社会系部門教員養成領域 発達科学講座・准教授   (13401)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------